

2013年3月期 決算説明会

2013年5月23日

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨



2013年3月期 総括

2014年3月期 計画

中期経営計画進捗

2013年3月期 総括

業績〔前年度比較〕

売上高
減少
経常利益
増加
当期純利益
増加

	2013年3月期 実績	2012年3月期 実績	差異
売上高	321億円	334億円	△12億円
粗利益	60億円	60億円	26百万円
粗利益率	18.9%	18.1%	0.8%
営業利益	24億円	24億円	△53百万円
営業利益率	7.6%	7.5%	0.1%
経常利益	28億円	26億円	2億円
経常利益率	9.0%	7.9%	1.0%
当期純利益	16億円	12億円	4億円
1株当たり 当期純利益	127.96円	91.17円	36.78円

売上高分析〔セグメント別〕

単位：百万円

	2013年3月期 実績	2012年3月期 実績	差異
開発事業	17,407	17,118	289
運用・構築事業	3,344	3,468	△123
販売事業	11,416	12,830	△1,414
合計	32,168	33,416	△1,248

前年度比較

- 開発事業 = 1.7%増
- 運用・構築事業 = 3.6%減
- 販売事業 = 11.0%減

売上高分析〔顧客業種別〕

単位：百万円

	開発事業 2013年3月期実績	開発事業 2012年3月期実績	運用・構築事業 2013年3月期実績	運用・構築事業 2012年3月期実績
製造業	5,814	5,560	131	195
通 信	833	961	384	433
電力・ガス	991	1,222	-	-
銀行・証券	2,742	2,720	583	579
生損保	647	617	200	234
流 通	886	817	36	63
大学等	914	880	833	767
その他	4,580	4,342	1,177	1,197
合 計	17,407	17,118	3,344	3,468

〔開発事業〕 ...1.7%増

- 前年度比較〔増加〕 ...製造業
- 前年度比較〔減少〕 ...電力業

〔運用・構築事業〕 ...3.6%減

- 前年度比較〔増加〕 ...大学関連
- 前年度比較〔減少〕 ...企業関連

〔販売事業〕 ...11.0%減

(株)AIT 販売事業 売上高

単位:百万円

2013年3月期 実績	2012年3月期 実績	差異
8,484	9,604	△1,119

●前年度比較〔減少〕

(株)AIT＝前年度における機器販売の大型案件(流通分野)に
匹敵する案件がなく減少

収益分析

- 営業利益＝微減
- 経常利益＝増加
- 当期純利益＝増加

■ 増加の要因

- ・ **全セグメント**における**粗利益率向上**
- ・ 為替差益の影響

■ 減少の要因

- ・ 売上減
- ・ 米国連結子会社における円高修正の影響等により、販管費が増加

開発事業の粗利益率

配員管理の強化による生産間接費の適正化等を推進



3四半期連続で20%を超える

参考: キャッシュ・フロー

	2013年3月期	2012年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	1,622	2,836
キャッシュ・フローマージン (%)	5.0%	8.5%
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△2,896	△1,280
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△906	△1,345
現金及び現金同等物の増減額 (百万円)	△2,054	187
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	7,497	9,496

< 主な要因 >

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

プラス要因 : 税金等調整前当期純利益2,884百万円、減価償却費の増加453百万円等

マイナス要因: 法人税等の支払1,163百万円、仕入債務の減少390百万円等

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

プラス要因: 投資有価証券の売却820百万円、貸付金の回収505百万円等

マイナス要因: 貸付3,600百万円、投資有価証券の取得674百万円等

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

マイナス要因: 配当金の支払525百万円、短期借入金の純減額380百万円等

参考：(株)SRA単体業績

単位：百万円

	2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期
売上高	16,249	16,126	16,822
営業利益	1,033	1,085	880
経常利益	1,578	1,863	1,185
当期純利益	972	1,081	835

参考：グループ会社業績

単位：百万円

		2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期
AIT	売上高	9,933	11,237	10,142
	経常利益	628	588	631
ソフトウェア・サイエンス	売上高	2,030	1,948	1,760
	経常利益	205	163	127
SRA西日本	売上高	832	875	985
	経常利益	56	60	101
SRA東北	売上高	738	935	966
	経常利益	40	55	98
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	2,311	1,871	2,108
	経常利益	385	362	322
SRA OSS	売上高	1,236	1,252	1,021
	経常利益	101	97	71
クレディスト	売上高	137	206	249
	経常利益	△23	△13	8
その他の子会社	売上高	659	485	486
	経常利益	△13	7	11
グループ会社合計	売上高	17,880	18,812	17,720
	経常利益	1,382	1,322	1,372

2014年3月期 計画

2014年3月期 計画

単位:百万円

	2014年3月期 計画	2013年3月期 実績	差 異
売上高	34,900	32,168	2,731
粗利益	6,800	6,074	725
粗利益率	19.5%	18.9%	0.6%
販売管理費	3,900	3,637	262
販管比率	11.2%	11.3%	△0.1%
営業利益	2,900	2,436	463
経常利益	3,000	2,883	116
当期純利益	1,860	1,681	178
1株当たり当期純利益	141.57円	127.96円	13.61円
1株当たり配当金	40円	45円	△5円

セグメント別 売上高

単位:百万円

	2014年3月期 計 画	2013年3月期 実 績	差 異
開発事業	18,800	17,407	1,392
運用・構築事業	3,660	3,344	315
販売事業	12,440	11,416	1,023
合 計	34,900	32,168	2,731

子会社別 売上高

単位:百万円

	2014年3月期 計 画	2013年3月期 実 績	差 異
(株) SRA	17,630	16,249	1,380
(株) AIT	10,830	9,933	896
ソフトウェア・サイエンス他 国内子会社	4,570	4,317	252
SRAアメリカ他 海外子会社	3,970	3,629	340

※連結相殺前の数値

取組方針〔受注〕

オポチュニティの創出

+

効率的な管理



受注

..... 営業 + 顧客企業担当
技術マネージャー

||

顧客システムを熟知し、
情報を迅速・正確に取得

⇒〔個別ニーズを捉えた的確な提案〕

..... 各プロジェクト
+ 生産・品質管理本部

||

案件の「質」と「量」の両面に対し、
リスクと対応を客観的に把握・指揮

⇒〔確実に受注に結びつける〕

収益性の高い生産体制の構築

■粗利益率

- 2012年3月期 実績 18.1%
- 2013年3月期 実績 18.9% ... **0.8%向上**

開発事業の粗利益率＝**三四半期連続で20%を超える**



施策のさらなる徹底

- 生産間接費の適正化
 - プロジェクトの採算性向上
 - オフショア開発の積極的活用
- 2013年3月期 実績 800人月
 - 2014年3月期 計画 1,100人月

株主を中心とする ステークホルダーの期待に応える

■1株当たり配当金

- 2013年3月期: 45円 ...〔普通配当〕 + 特別配当5円

SRA創立45周年記念

- 2014年3月期: 40円 (計画)...〔普通配当〕

■連結 ROEの2桁 確保、維持を目指す

- 2013年3月期: 10.2%

- 2014年3月期: 10.4% (予想)

中期経営計画進捗

経営目標値(連結)

- 最終年度の1年延長
 - 中期経営計画目標値の修正
- } 2013年5月9日発表

当期純利益

2007年度(2008年3月期)の業績 [過去最高益=22億円を超える]
という当初の中期経営計画目標は修正せず

	2015年3月期目標
当期純利益	2,230百万円
EPS	169.73円



株主価値の向上

計画達成のためにやるべき事



- ▶ 既存事業における**構造改革**
- ▶ 中長期成長戦略
自社IP製品ビジネス×海外ビジネス

自社IP製品ビジネス×海外ビジネス

〔業務・資本提携、投資等〕

- 株式会社 **SJI** オフショア開発＋中国市場ビジネス

〔2012年11月〕SRAがSJIの転換社債を引受

SRAが新株予約権を行使した場合



SJI = **持分法適用会社**

SJIの業績を

SRA-HDの**連結業績**に取り込む

〔参考〕**SJI業績** (2014年3月期予想)

売上高	320億円
経常利益	23億円

〔業務・資本提携、投資等〕

- Kingnet

中国における販売チャネル構築

- Cavirin

クラウドコンピューティングビジネスを展開

- Proxim

ワイヤレスネットワークビジネスを展開

自社IP製品ビジネス×海外ビジネス

- メールアーカイブ MailDepot
- ソースコード検索エンジン CodeDepot
- 総合文教ソリューション UniVision
- オープンソース・データベースソフト PowerGres
- マイグレーションツール

[2013年6月～]

- デジタルサイネージ製品
- デジタルコンテンツ製品

■ UniVision 自社IP製品〔総合文教ソリューション〕

導入実績 東洋大学、南山大学、中京大学、名古屋大学、立教大学、多摩美術大学……

- DB-Spiral (大学評価データベースシステム)
- UniVision 学生ポートフォリオ・システム
- UniVision 教職履修カルテ
- UniVision リメディアル学修支援システム
- アクティブラーニング・ソリューション

80大学

- キャンパスネット
 - Z-BoSS
 - ITガバナンス
- } 20大学

自社IP製品ビジネス×海外ビジネス

中長期成長目標

自社IP製品ビジネス
2014年度 連結 売上高の10%

海外ビジネス
2016年度 連結 売上高の20%

- SJI
- Kingnet
- Cavirin
- Proxim

- MailDepot
- CodeDepot
- UniVision
- PowerGres
- マイグレーションツール
- デジタルサイネージ
- デジタルコンテンツ

ビジネスモデルの
変革



SRAグループの
進化

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。